

2025 年度日本東洋医学会関東甲信越支部茨城・栃木合同県部会によせて

濱口眞輔

日本東洋医学会関東甲信越支部栃木県部会・会長

獨協医科大学医学部麻酔科学講座・教授

2025 年 8 月から日本東洋医学会関東甲信越支部栃木県部会の会長を拝命しました濱口眞輔と申します。前任の金子達先生までの諸先生方が築き上げられた栃木県部会の輝かしい実績を引き継ぎつつ発展させることは至難の業ですが、精いっぱい努めますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

私が専門とする疼痛治療の領域では、神経ブロック、手術療法や薬物療法を用いた痛みの緩和を目指しておりますが、東洋医学、とりわけ漢方薬による薬物療法は、時に「西洋薬」を凌ぐ治療効果を魅せてくれることがあります（鍼灸に関しては不勉強故、その効果を存じ上げません、申し訳ありません）。とくに、劇的ともいえるその効果によって患者さんの ADL や QOL が改善したときに、医療者は東洋医学に魅せられます。当然、日本東洋医学会もそのような医療関係者の集まりでしょうし、総会、支部会、そして本会のような県部会はその臨床経験や研究成果を共有しあえる場として非常に重要となるでしょう。

2021 年以降、茨城県と栃木県は県部会を合同で開催してまいりました。その理由としてコロナ禍や、WEB 会議の一般化など幾多も挙げられますが、本会会員の若手医師の減少や医療を取り巻く社会情勢の変化が演題数低下なども合同開催の一因になっている可能性も否定できません。そのため、私は獨協医科大学で 5 コマの東洋医学の講義をすべて行い、漢方医学教育財団や漢方医学教育協議会などの医学教育にも注力しておりますが、残念ながら、その効果は未だにみえません。ですので、県部会、支部会、総会でも東洋医学の普及に注力したいと思っております。今回は若輩ながらも特別講演をさせていただく機会を増本幸二会長はくださいました。精いっぱい頑張り、本会が活発な討議と有意義な情報共有の場となるように尽力いたします。本会での勉強が、これからの漢方診療に役立つと信じております。皆様の御参加をいただければ幸いです。

2025 年 10 月

日本東洋医学会関東甲信越支部・栃木県部会

部会長 濱口眞輔